

新役員 足元見つめ活動

釧路あすなるクラブ来社

企業の経営者らによる異業種交流、経済研修団体「釧路あすなるクラブ」(小野寺英夫会長)の第55期役員が24日、釧路新聞社を訪れ、2017年度のテーマ「脚下^{きょうか}照顧^{じょうご}」について意気込みを語った。21日に開かれた17年度定期総会で新役員が決まった。

発足。小野寺会長(62)は「古い方が退会し、会員がだいぶ入れ替わったので、改めてクラブや地域、会員一人一人の足元を見つめ直していきたい」と述べた。2月には、55周年記念例会を予定している。(黒田文夫)

新役員は次の通り。(敬称略)

同会は、釧路地域の経済人が集まり、1962年に

▽会長 小野寺英夫(再任)▽副会長 中島康秀、谷口耕二(以上再任)▽事務局長 猪俣利之(再任)▽事務局次長 関川孝輔、久保下智之(以上再任、安代久仁(新任))

▽監事 木元章義、結城太(以上新任)



釧路新聞社を訪れた小野寺会長(左)ら新役員

釧路新聞

SENSHIN

1月26日木曜日

発行所 釧路新聞社

©釧路新聞社 2017